

# 社会資本総合整備計画

(長野駅東口周辺の安全・安心で快適なまちへの再生)

第三期計画 (R2～R5)

【 第1回変更 】

令和 4 年 3 月 24 日

長野 県 長野 市

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和01年12月03日

計画の名称	長野駅東口周辺の安全・安心で快適なまちへの再生											
計画の期間	令和02年度 ~ 令和05年度 (4年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	長野市											
計画の目標	高度経済成長期に無秩序な市街地が形成された長野駅東口周辺において進めてきた土地区画整理事業により、公共施設整備が完了を迎えている。 本計画において、事業の早期完了に向けた業務を実施し、事業による交通結節点機能強化向上等のストック効果の発揮により、安全・安心で快適なまちへの再生を目指す。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	571	A	571	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R1当初)	中間目標値 (R3末)	最終目標値 (R5末)
1	長野駅周辺第二土地区画整理区域内の人口を2,827人(R1)から2,927人(R5)に増加させる。 土地区画整理区域内居住者人口の増加 住民基本台帳に登録されている人口	2827人	2877人	2927人
2	長野駅から地区内に訪れる歩行者数を4,308人/日(R1)から4,508人/日(R5)に増加させる。 長野駅から地区内に訪れる歩行者数の増加 長野市歩行者通行量調査における長野駅東口ペDESTリアンデッキ歩行者数を活用	4308人/日	4408人/日	4508人/日
3	長野駅を交通結節点として利用するバスの台数を3,778台/月(R1)から3,898台/月(R5)に増加させる。 長野駅を交通結節点として利用するバスの台数の増加 バス待機場利用台数を活用	3778台/月	3838台/月	3898台/月
4	長野駅周辺第二土地区画整理事業地内の地価公示価格を商業地において140,000円/m <sup>2</sup> (R1)から144,000円/m <sup>2</sup> (R5)に上昇させる。 土地区画整理区域内の商業地の地価公示価格の上昇 土地区画整理区域内における土地の地価公示価格	140000円/m <sup>2</sup>	142000円/m <sup>2</sup>	144000円/m <sup>2</sup>
5	長野駅から須坂長野東ICまでの所要時間を短縮。 長野駅から須坂長野東ICへのアクセス時間の短縮率 = (1 - [ (要素事業供用による所要時間(分)) ÷ (要素事業の現道での所要時間(分)) ]) × 100	0%	0%	7%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---



交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03			
配分額 (a)	46	19			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	46	19			
前年度からの繰越額 (d)	0	6			
支払済額 (e)	40	25			
翌年度繰越額 (f)	6	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

参考図面（社会資本整備総合交付金 市街地整備）

計画の名称	長野駅東口周辺の安全・安心で快適なまちへの再生		
計画の期間	令和2年度 ～ 令和5年度（4年間）	交付対象	長野県、長野市



A-1 道路(区画)  
長野駅周辺第二地区

長野駅

至 長野東IC

ホクト文化ホール

長野駅東口周辺の安全・安心で快適なまちへの再生  
A=58.2 ha

凡例

- 基幹事業
- 関連社会資本整備事業
- 効果促進事業